

SKY DOG[®] SPORT

vol.25

**福尾光一
& GOKOO**

**3年連続シリーズチャンプ
悲願のファイナル初制覇!!**



**JAPAN FINAL 2014 in 三重津
CHALLENGE CUP 2014**
茨城つくば・兵庫但馬・福岡大牟田



JFA 2014

FRISBEE® DOG JAPAN FINAL

in 三重津

11.1.2.3
SAT SUN MON

第1日目

2014.11.3

天候:雨/風:弱風

日本フリスビードッグ協会設立後21回目となりました、ジャパンファイナル日本一決定戦。いよいよ2014年度の各部門、そしてグランドチャンピオンが決定する舞台の幕が開きました。第1日目はあいにくの雨模様となりました、三重県中勢グリーンパーク会場。しかしながら、熱い思いを持って来られたノミネート選手達は、雨をも弾き飛ばすパワーをみなぎらせていました。

■ ユースオープンの部 チャンピオン決定戦

今や公式戦への登竜門となっているユースオープンの部。今年も各都道府県から未来を担うチームが集結しました。

予選ラウンドから安定したプレーを見せたのは年間ランキング2位の柴村亮佑&CHARIS（ボーダーコリー）チーム。決勝ラウンドでも抜群の安定感で他をよせつけず、昨年のリベンジを果たしました。

2位には昨年天功（ウィペット）とのチームで優勝し今年はX（ウィペット）とのチームで2年連続優勝を狙った深谷浩之選手が決定戦を制しました。

団結力とチームワークが重要となる団体戦では、出場チームすべてがランキング20位以内に入っている強豪東京都が、2年連続の優勝を狙った岐阜県を圧倒。団体戦優勝を飾りました。



■ シニアドッグの部 チャンピオン決定戦

7歳以上の競技犬によって争われるシニアドッグの部。しかし今のシニアドッグは若い世代に全く引けを取らない身体能力を維持しており、こちらも白熱した戦いとなりました。そんな中優勝争いを演じたのはいずれも過去グランドチャンピオンシップのファイナリストにも輝いたことのある2チーム。



決勝ラウンドで30ポイントをたたき出し追い上げた荻野隆行&くらら（ラブラドル）を僅か2ポイントかわしたのは、小川真由美&James Moriarty（ボーダーコリー）チーム。3位には地元三重県の東條浩一&ライズ（ボーダーコリー）が入り大きな声援が送られていました。

■ ペアの部 チャンピオン決定戦

愛犬、そしてなによりパートナーとのコンビネーションが要求されるペアの部。毎年さまざまなドラマが繰り広げられますが、予選トップに立ったのは公私ともにノリにのっている西前まな美・吉武竜司&mira（ボーダーコリー）チーム。

決勝ラウンドでは予選2位通過の中西香里・上田彰&ふぁん太（ボーダーコリー）チームに4ポイント差まで詰め寄られますがリードを保ち見事優勝。このチームにとって2014年という年は忘れられない1年になることでしょう。

関東勢同士の争いとなった3位決定戦は長年の想いが通じ今年ペアを結成した高橋純代・福島則行&ルーカス（ボーダーコリー）チームが石川恵子・今井照明（ホワイトシェパード）チームをくしました。



■ ジャパンファイナル2014 開催記念大会



2日目以降にノミネートを受けたチームのコンディションを整える大会とも言える「JAPAN FINAL 2014 IN 三重記念大会」は、また違った意味での熱い戦いが繰り広げられました。昨年度から採用されたグランドチャンピオンシップセミファイナルを翌日に控えた選手や、レディース/スモールドッグチャンピオンシッ

ブノミネートチーム、この日応援に駆けつけたプレイヤー達の第1+第2ラウンド制で勝者を決めるミックスマッチ。

明日からの本戦を占うような一戦の勝者は、菊地敦子&珊瑚（ボーダーコリー）チームが65ポイントを獲得して優勝しました。そして、第2位に菊地浩樹&琥珀（ボーダーコリー）チームと、チーム菊地は、ご夫婦でワンツーという素晴らしい成績で本戦を迎えることとなりました。第3位には、本年絶好調チーム鈴木武司&Samos Cougaチームでした。

第2日目

2014.11.4

天候:曇りのち一時雨 / 風:弱風

初日の雨も上がり、曇り空から始まりました第2日目。風の強さも弱く、絶好のコンディションとなりました。しかしながら、ノミネート選手達を苦しめたのは雨で緩んでしまったコートコンディション。特にD-1MAX並びにスモールドッグには、タフなコンディションだったと思います。

■ D-1 MAXチャンピオンシップ



2014年度はフリーフライト選手権の名称から、20周年の試みとして「フリーフライト D-1 MAX」と名称を変え、ファーストステージにディスタンスを盛り込み開催されました。

そしてジャパンファイナル決戦の日。ファーストステージは、各チーム規定演技を無難にこなし大きく点

数の開きが出ないかと思われました。

その中でも、頭ひとつ出して規定演技トップの成績を取ったチームが優位にセカンドステージへ進むかと思いましたが、ディスタンスで崩れセカンドステージへともつれ込む形で終了。

セカンドステージでは、非常にタイトなコートコンディションの中での演技となりました。各チーム足元に苦戦しながらも、終始安定したプレーを見せた澤幹子&AILA（ボーダーコリー）チームが優勝。第2位に澤幹子&SID（ボーダーコリー）チーム。澤幹子選手は、AILA&SID共にワンツーで入賞を決める快挙を遂げました。第3位には、チャンピオンシップ9年連続の南浩一&GLORY（ボーダーコリー）チームが入賞しました。

■ スモールドッグチャンピオンシップ

スモールドッグチャンピオンシップが確立されて10回目当たる日本一決定戦。

中には10年連続ノミネートを受ける栄誉あるチームも顔を連ねる中、やはり注目は7年連続出場で三度のスモールドッグチャンピオンに輝いた土田雅志&栗の介（ウェルシュコーギー）チーム。

しかし、第1ラウンドから圧力をかけたのが、ジャパンファイナル初出場の新鋭チーム、上川成年&LUKE（パーソンラッセル）チームでした。優勝戦線に絡んでくる有力チームが追いかける中、第2ラウンドそして決勝戦と、終始安定したポイントを積み重ね、見事優勝を飾ったのは、



スモールドッグチャンピオンシップ初出場にして初優勝の上川成年&LUKE（パーソンラッセル）チーム。第2位には、こちらも初ノミネートからの入賞、加藤宣文&夢結（ミックス）チーム。第3位に、僅か5ポイントの差を持って昨年度チャンピオン土田雅志&栗の介（ウェルシュコーギー）チームという結果となりました。

■ レディースチャンピオンシップ

熱き女の闘いとなるレディースチャンピオンシップも部門設立をして14年目となりました。連続出場記録としては、本年度最多は8年連続の青田恵子&LIKE（ボーダーコリー）チームも顔を見せる中で戦われました。

レディースチャンピオンシップでの注目といえば、シーズン最多の賞歴を誇る荻野明美&蓮（ボーダーコリー）チームの存在。しかし、第1ラウンド30ポイント後半のポイントを出してくるチームがプレッシャーをかけてきます。

舞台は第2ラウンドへ移り、後半のチームに差し掛かった頃に大きく決勝ボーダーラインを引き上げてきたのが、ヒート犬からの高橋未夢&rosy（ボーダーコリー）チームと高橋未夢&綱手（ボーダーコリー）チームの存在でした。

予選ラウンドの結果、安定して30ポイント台をマークした木田和夏&Sunway（ボーダーコリー）チームがトップで決勝進出。

このまま逃げ切るかと思われた決勝ラウンド、予選第3位で決勝戦に挑んだ高橋純代&Iris（ボーダーコリー）チームが40ポイントを得て、トータルポイント102ポイントとして後続チームにプレッシャーをかけてきます。結果、後続2チームはプレッシャーに打ち勝つことが出来ず。

輝かしいレディースチャンピオンシップの優勝の座は、高橋純代&Irisチームと決定しました。

第2位には、惜しくも6ポイントの差で木田和夏&Sunwayチーム。第3位には、高橋未夢&rosyチーム。チーム高橋は、母娘での入賞を果たす結果となりました。



2014年度表彰式典

2014年度表彰式典は「三重県総合文化センター」にて開かれました。フリスビードッグの長い歴史の中で、毎年素晴らしい記録や成績が生まれます。その中でも、各部門並びにグランドチャンピオンシップ連続出場記録や通算出場記録は、長く愛犬とパートナーシップをとり栄誉ある表彰を受けるチームです。ドッグスポーツを楽しむ者達にとって、こういったチームは素晴らしい印象を持つのではないのでしょうか。もちろん、チームワークを大いに発揮し、ワンゲームのハイスコアやワンラウンドのハイスコアを樹立したチーム。果敢にも究極のプレーを成し遂げたチーム達。10ポイント×4本+アルファの5本を決めた一撃伝説賞や10ポイント×4本を達成したチームも、次世代のプレイヤー達の目標となるのではないのでしょうか。皆様も2015年度、数々の記録に挑戦してみませんか。



第3日目

2014.11.5

天候:晴れ/風:強風

いよいよ、フリスビードッグ日本一の座を決める、グランドチャンピオンシップが開催される第3日目。天候は、3日目にして晴天に恵まれましたが、グランドチャンピオンシップの神様は、風という試練を与えたのでしょうか、朝から強い風が吹き荒れる最終日となりました。この日の開会式には、開催にあたって後援を頂きました、三重県津市より前葉泰幸市長様に歓迎のお言葉を頂き、試投式を行って頂き日本一決定戦の幕が開けられました。

■ グランドチャンピオンシップ



▲ 前葉泰幸市長による始投式

前日のグランドチャンピオンシップセミファイナルから勝ち上がってきたチームを含め、フリスビードッグ日本一を決める決定戦に勝負をかけるのは総勢71チーム。1年間頑張りぬいてきた各チームが、この日だけの1ゲームで勝敗を決定します。

第1ラウンドは強風向かい風。もちろん、風の強弱はつきものです。少しでも風の緩んだ時がチャンスですが、それもグランドチャンピオンシップの神のみぞ知る結末。予想通り、ほぼ20ポイント台で展開を見せている中で、30ポイント台を出したのは僅かに3チームという厳しい戦いとなりました。

ある意味、決勝ラウンド進出のチャンスはどのチームも持ち合わせるという第1ラウンドから折り返し、第2ラウンドは強風追い風状況の中でのタイトな戦い。フリスビーディスクが滞空時間を失い、たたきつけられる様なシーンが多く見られる中で、30ポイント台をマークできたのは4チームだけという状況。

決勝進出の門を開けたのは、予選結果52ポイント以上を取った7チームでした。

予選トップは61ポイント同ポイントでしたが、第2ラウンドポイント上位の福尾光一&GOKOO（ニュージーランドヘディングドッグ）チーム

がポールポジション。こちらのチームに注目が注がれるのは、三度のシリーズチャンピオンを連続して獲得。そして史上2チーム目となるシリーズチャンピオンとグランドチャンピオンを同年において獲得するという快挙がかかっています。

運命を決める決勝ラウンドの風向きは、強風追い風のコンディション。

しかし、同じコンディションであった第2ラウンドをこなしてきた7チームの猛者達は、自信に満ち溢れた顔で決勝の舞台に上がってきました。決勝ラウンドが始まり、やはり時折フリスビーディスクを叩きつけるシーンもあり、思い通りにポイントを積み重ねることが出来ないファイナリスト達の中、最後に迎えた福尾光一&GOKOOチームがパーフェクトプレーを成し遂げ、トータルポイント97ポイントをもって優勝。



2014年度グランドチャンピオンに見事輝きました。

第2位には、須貝信也&Lien（ボーダーコリー）チーム。第3位には、レディースプレイヤー木田和夏&Little Navajo（ボーダーコリー）チームが入賞となりました。



COMPETITION DATA

開催日

2014年11月1日(土) ~ 3日(月・祝)

会場

中勢グリーンパーク

(三重県津市あかつ台中勢北部サイエンスシティ)

主催

日本フリスビードッグ協会

共催

津市

協賛

ブラックウッドジャパンコーポレイション
株式会社 ティー・クリエーション
アース・バイオケミカル株式会社
有限会社 谷尾興産
デビフペット株式会社
株式会社 アースウィング
アイペット損害保険株式会社
NEEDSBOX



▲ 津市長 前葉泰幸様



▲ 例ディ・クリエーション 菅原様



▲ 南谷尾興産 小谷様



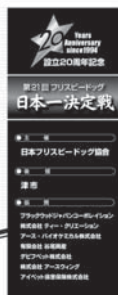
▲ 例ニース札幌 山田様

ごあいさつ

去る11月1日~3日、三重県津市 中勢グリーンパークにおいて、「第21回ジャパンファイナル」を盛大に開催し、無事終了いたしました。今大会の開催にあたり、誘致に奔走していただいた畑中様、開催地である三重県津市様、協賛各社様、そして、ご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。

また、2014年度シーズンの開催にあたり、多大なご協力を頂きましたスポンサーの皆様にも、心よりお礼申し上げます。

JFAスタッフ一同



大会結果

ジャパンファイナル2014 in 三重津 決勝進出者 及び 入賞者一覧

グランドチャンピオンシップ 決勝ラウンド進出チーム

	氏 名	犬 名	出身地	犬 種	ポイント
1	福尾 光一	GOKOO	岡山県	NZヘディングドッグ	97
2	須貝 信也	Lien	岐阜県	ボーダーコリー	84
3	木田 和夏	Little Navajo	大阪府	ボーダーコリー	82
4	谷越久仁夫	環菜	岩手県	ボーダーコリー	77
5	深谷 浩之	九十九	岐阜県	ウィペット	75
6	川野辺 正	七海	茨城県	ラブラドル	74
7	中村 清則	Charo	宮城県	ボーダーコリー	68

フリーフライトチャンピオンシップ 入賞チーム

	氏 名	犬 名	出身地	犬 種	ポイント
1	澤 幹子	AILA	大阪府	ボーダーコリー	68.22
2	澤 幹子	SID	大阪府	ボーダーコリー	63.03
3	南 浩一	GLORY	兵庫県	ボーダーコリー	60.47

レディースチャンピオンシップ 決勝ラウンド進出チーム

	氏 名	犬 名	出身地	犬 種	ポイント
1	高橋 純代	Iris	神奈川県	ボーダーコリー	102
2	木田 和夏	Sunway	大阪府	ボーダーコリー	96
3	高橋 未夢	rosy	神奈川県	ボーダーコリー	88
4	成田 千恵	Milan	北海道	ボーダーコリー	78
5	高木のどか	ロビン	東京都	ボーダーコリー	69
6	北川 伊織	シルフィー	奈良県	ボーダーコリー	68
7	石川 理絵	LEON	大阪府	ボーダーコリー	64

スモールドッグチャンピオンシップ 決勝ラウンド進出チーム

	氏 名	犬 名	出身地	犬 種	ポイント
1	上川 成年	LUKE	埼玉県	パーソンラッセル	65
2	加藤 宣文	夢結	埼玉県	ミックス	62
3	土田 雅志	栗の介	埼玉県	W.コーギー	60
4	三ヶ田鈴香	サード	静岡県	ジャックラッセル	59
5	藤田 浩子	マイロ	奈良県	ジャックラッセル	58

ユースオープンチャンピオンシップ(個人の部) 決勝ラウンド進出チーム

	氏 名	犬 名	出身地	犬 種	ポイント
1	柴村 亮佑	CHARIS	福岡県	ボーダーコリー	97
2	深谷 浩之	X	岐阜県	ウィペット	82
3	亀田 龍也	SUN	三重県	ボーダーコリー	82

ユースオープンチャンピオンシップ(団体の部) 入賞チーム

	チーム	氏 名	犬 名	犬 種	ポイント
1	東京都	小山 隆	REBECCA	グローネンダール	255P
		田澤 秀孝	ポータン	ボーダーコリー	
		吉澤 憲一	そら	ボーダーコリー	
		増田雄太郎	虎二郎	A.シェパード	
2	岐阜県	深谷 浩之	X	ウィペット	227
		村山明日香	弥七	ボーダーコリー	
		深谷 里美	小夜	ウィペット	
		長屋由紀子	Rutile	ウィペット	
3	福岡県	柴村 亮佑	CHARIS	ボーダーコリー	213
		中島 俊明	ジーク	ウィペット	
		川嶋 久美	LUCE	ボーダーコリー	
		柴村 健治	COSMO	ボーダーコリー	

シニアドッグの部 チャンピオン決定戦 決勝ラウンド進出チーム

	氏 名	犬 名	出身地	犬 種	ポイント
1	小川真由美	James Moriarty	静岡県	ボーダーコリー	84
2	荻野 隆行	くらら	大阪府	ラブラドル	82
3	東條 浩一	ライズ	三重県	ボーダーコリー	79
4	山口 朋孝	Rusty	兵庫県	ボーダーコリー	66
5	宮迫 裕二	TRAD	京都府	ボーダーコリー	59

ペアの部 チャンピオン決定戦 決勝ラウンド進出チーム

	氏 名	犬 名	出身地	犬 種	ポイント
1	西前まな美	mira	福岡県	ボーダーコリー	82
	吉武 竜司				
2	中西 香里	ふぁん太	大阪府	ボーダーコリー	78
	上田 彰				
3	石川 恵子	鬼平	埼玉県	Wシェパード	65
	今井 照明				
4	高橋 純代	ルーカス	東京都	ボーダーコリー	65
	福島 則行				
5	有馬智津子	舞	新潟県	ボーダーコリー	61
	小諸 一男				



参戦記



グランドチャンピオン

福尾光一 & GOKOO

スタッフの皆様、参加された皆様、1年間お世話になりました。ディスクを初めて15年くらいになりました。そして、GOKOOに出会って4年になり、ファイナルもGOKOOとは4回目の出場です。しかも今回で、3年連続で年間チャンピオンになることも出来ました。そして、シリチャンで挑む3回目のファイナル、3度目の正直と思い挑んだファイナル。



自分さえ落ち着いて投げれば、後はGOKOOが何とかしてくれると言い聞かせながら、すべてのラウンドに入りました。その中でも2ラウンドの時間が一番緊張しました。そして決勝ラウンド。気持ちを落ち着かせて、なんとかパーフェクトゲームができた瞬間、やっとGOKOOに日本一という大きなプレゼントを頂きました。

これまでも色んな苦労が有りすぎて口では言い表せませんが、すべて良い思い出に変わりました。ここまで続けてこれたのも、家族、そして今まで応援して下さいた皆様が力になりここまで来れました。本当にありがとうございました。来年もぼちぼち頑張りますので、皆様、これからも宜しくお願い致します。

最後に一言、GOKOOを生んでくれたミミ（母）、本当にありがとね。



スモールドッグチャンピオン

川上成年 & LUKE

まさかまさか！優勝するなんて思ってもみませんでした。初ノミネートなのでファイナルの雰囲気を楽しむため三重津までやってきました。本来ならば緊張してまともなスローなど出来ないのですが、緊張を和らげる言い訳がいっぱいありました。

「初めてのファイナル参戦なので投げられなくて当たり前」

「田んぼみたいなグランドコンディションでは、まともに出来なくて当たり前」

まったく緊張しないで1R2R投げられた結果LUKEなんとシリーズ戦でもなしえた事がなかった全投キャッチ！ポイントよりも全投キャッチした事がとても嬉しかったです。

決勝では事の重大さにやっと気付きた緊張でまともなスローが出来ませんでしたでしたがLUKEが頑張ってカバーしてくれて、優勝をもたらしてくれました。初めてづくしのJAPAN FINALは一生の思い出になりました。これからもチームで楽しく一生懸命頑張っていきたいと思えます。ありがとうございました。



レディースチャンピオン

高橋純代 & Iris

今シーズンは、rosyの出産や、母の不調などで、なかなか大会に参加することが出来ませんでした。三重に出発する直前までバタバタし、気持ちを半分残したままでのファイナル参加でした。

レディース当日は、朝から自身の発熱で終始ボンヤリ。ラウンドが終わる度、息も絶え絶えでした(笑) Irisのファインプレーのおかげで決勝進出することが出来ました。

決勝では、出番直前に言われた東京支部長のアドバイスと、足場がかなり悪かったので高めのスロー、この2点だけに集中して挑みました。

タフコンディションの中、Irisが本当によく頑張ってくれ、悲願

のレディースチャンピオンになることが出来ました。日本一決定戦を、愛娘、愛犬と競えたこと、忘れられない思い出となりました。

最後になりましたが、励まし、応援して下さいた方々、JFAスタッフの皆様ありがとうございました。支えてくれた家族、友人、最愛の相棒Iris。本当にありがとう。これからもし山宜しく願います！



D-1 MAX チャンピオン

澤 幹子 & AILA

2014年皆様お疲れ様でした。

昨年のファイナルでは、自分の納得出来る演技が出来ず、頑張ったアイラ、シドの足を引っ張る結果となってシーズンを終えました。今年は二頭と気持ちが通い合った演技をしたい、そう思って臨んだファイナルでした。

ファイナル当日。前日から降っている雨によりコートの中殆どがぬかるんでいる状態。風は無いに等しいけれども、人ですら足を取られる地面で普段通りにさせることは犬の安全性を考えても難しい状況でした。

「普段の高さでやるよりも、セーフティーにやろう。」

規定演技ではシドは納得出来る内容でしたが、アイラの時は私のイージーミスが多かったと思います。

ディスタンスでアイラが頑張ってくれて予選1位通過。

自由演技。コートはAコート。最初のコートよりもぬかるみが多く、我が家の犬達が走れるのか他の犬を見ていると不安になる。シド、臆さずに走りこんでくれて頑張ってくれている。犬達の気持ちに応えたい、アイラもきっと頑張ってくれる。そう信じてコートへ。

普段通りとはいかない内容でしたが、アイラ優勝、シド二位という結果を頂く事が出来ました。

応援して頂いた友達や家族、会長始めスタッフの皆様、本当に有難うございました。これからも自分らしく演技したいと思いますので宜しくお願いします。





ユースオープン(団体の部)チャンピオン

チーム東京



京都代表チームは個人戦で結果を残し、決勝ラウンドを1位で通過することが出来ました。

決勝ラウンド1人目は増田雄太郎&虎二郎チーム。5投全キャッチのパーフェクト。あと31ポイントで優勝となる場面で私とそらチームの出番となり30ポイントを獲得。(場を盛り上げようとした訳ではありません 笑) その後、田澤秀孝&ボータンチーム、小山隆&REBECCAチームへと引き継ぎ、優勝することが出来ました。

数日前まで、ジャパンファイナルの場にいる自分を想像すら出来ませんでした。とても良い経験になりました。大会の出場を後押ししてくれた方々に感謝しています。来年もファイナルに出場できるように日々精進したいと思います。(吉澤憲一)

今年の東京都是強い。と耳にしたのは10月に入った頃、まさか自分がその東京都代表になるとは、その時は考えてもいませんでした。11月1日、三重県津市、悪天候の中、ジャパンファイナルが開幕されました。



ペアの部 チャンピオン

西前まな美・吉武竜司&mira

毎年JAPAN FINALのペア大会では各プレイヤー、本当に楽しそうにプレーをしているのを見ていました。

そんなペア大会に自分の愛犬とも出場したいと思い今シーズンより出場する事を決めました。

投げ手が変わるという特殊なペア大会のルールにミラが馴染めるか心配でしたが、ミラは思ったよりすんなりと理解したようです。

家の中では大人しく、人気のないところにいるのが好きな子です。(笑) しかし、フリスビーとなると目の色が変わり、プレー中でもフリスビーをボロボロにして戻ってきます…。

住犬のステラは割りとソフトなので、ハードマウスのミラに投げるのも相方共々一苦労でした。しかし、ペア大会に出始めて徐々に受け渡しもよくなってきて、終わってみればペア大会日本一という素晴らしいプレゼントをくれました！

あの足場の悪い中頑張って走ってくれたミラに感謝です。ミラ本当にありがとう！そしてこれからも楽しもうね！



ユースオープン(個人の部)チャンピオン

柴村亮佑&CHARIS

今年のジャパンファイナルは、昨年に続く2回目の出場でした。しかし、受験生という事もあり思う様に大会に出られませんでした。

そんな中、一戦一戦を大切にしながら掴んだ年間ランキング2位での出場。今年こそは絶対優勝しようと思って臨みました。

ついに迎えた本番。緊張もあまり無く1位で予選通過する事が出来ました。決勝では17ポイント差、3本キャッチさせれば優勝という状況に緊張したままコートに入ってしまった、思うようなスローが出来ず4本全てCHARISに助けて貰う形での優勝となりました。ただで念願が叶って良かったです。



団体は昨年のリベンジとはいきませんでした。が3位に入賞出来て良かったです。中島さん、川嶋さん、お父さんとCOSMOありがとうございました。

最後に1年間協力して下さいました皆さん、一緒に頑張ってくれたCHARIS、ありがとうございました。



シニアドッグの部 チャンピオン

小川真由美&James Moriarty



今年は色々ありまして、春秋の近場の大会だけの参加でした。あまり気合いも入らず、ファイナル出場の実感もないまま会場入りしました。

会場は雨でコートが田んぼ状態になっていた為、怪我しなければいいかと4~6Pエリアに丁寧に投げたところ、まさかの10本オールキャッチで決勝進出。それでもいまひとつ集中できず、ボケッとしていました。

決勝に向かう途中、コートから「30P〜!」と聞こえてきた時、ようやく思い出しました。

私にとって大会は愛犬のお披露目の場。上手くキャッチできたときに「モリアーティ凄いね、可愛いね!」って言ってもらえるのが嬉しくて、毎回参加していた事を。

「よし、全部キャッチね!」と気合いを入れると「まかせの〜ん♪」といったかどうかはわかりませんが、モリアーティ見事3R全投キャッチを決め、最高の形で終わることが出来ました。

ファイナルで大会の楽しみを思い出し、また楽しくゲームする事も出来たので、2015年ものんびりではありますが参加したいと思います。

9歳になったモリアーティ、今後ともよろしくお願いします。

「まだまだいっぱい走るのねーん!」 by モリアーティ

EAST

2014.11.16・茨城つくば

毎年恒例となりました茨城県つくば市で開催された東日本チャンピオン決定戦。チャレンジクラス・スモールドッグクラス・レトリブクラス・そしてトライアルボールドッグクラスの決定戦が行われました。天候にも恵まれ緊張感の漂う中、各カテゴリーのチャンピオンになるべく凌ぎを削る戦いが行われました。

チャレンジクラス 優勝

柏木真理子&PIESPORT

2014年3月23日、新しい家族となったPIESPORT(ピースポート)。

つくば大会会場から家に着くまで、車酔いもなく、元気いっぱいに寒い青森に到着。

それから8ヶ月弱の間、元気に走り回り夏は泳ぎも覚えて、ときどき大会で会える兄弟父母たちと遊び、本当に天真爛漫に成長しました。

遊ぶのが大好きで、フリスビーも大好きで、そんな彼女だからチャレンジカップでも意欲あふれ、私のミススローのフォローもし、優勝することができました。

育てていく間、悩みが無かったわけではありませんが、周りのアドバイスもあり良いスポーツドッグに成長しつつあると思います。

ありがとうございました。今後も私達をあたたく見守ってください



スモールドッグクラス 優勝

岩城 均&忠実

今年は運が良かったと思います。数回の参加で決定戦にられました。10年目の初出場です。

深夜に出発し、早朝に牛久に到着。何回も来た所ですが、落葉の中を忠実と妻と一緒に、のんびり散歩などしてリラックスできたようです。

「楽しく忠実と遊んで来なさい」と妻に励まされ、コートに立ちました。投げたディスクを追いかける忠実の姿がまぶしかったです。

一緒に遊びたいのか、私とディスクを取りに走ったことなどを思い出しながらの、あっという間の1分間でした。

思いもしなかった優勝は、私たち家族にとって最大の喜びです。

忠実も来年は11歳。少しでも永く、一緒に楽しく過ごして行きたいと思っています。

忠実君、岩城家に来てくれてありがとう。君は最高の「忠犬」だよ。



WEST

2014.11.16・兵庫但馬

兵庫県立但馬ドームで開催されました西日本チャンピオン決定戦は、チャレンジクラス・スモールドッグクラス・レトリブクラス・トライアルボールドッグクラスの各決定戦が開催されました。決定戦当日は清々しい朝を迎え、一日を通して晴れて風は弱風。最高のフリスビードッグ日和の下で、各カテゴリーのノミネートチームは、思う存分力を出し切ったことと思います。お昼休みにはアトラクションゲーム「フリスビーディスクゴールゲーム」が行われました。そして閉会式の締めくくりは、じゃんけん大会アトラクションゲームが開催され、ともに豪華景品が勝者に与えられました。

チャレンジクラス・スモールドッグクラス 優勝

福原芳郎&来夢

「キャッチよ!」の声に来夢が6エリアで、しっかりキャッチした瞬間「よし!」と声を上げ思わず拳を握りしめました。2014年度のチャレンジと小型犬の2部門を10歳の来夢が2冠制覇した。

思えばデビュー戦をしてから紆余曲折があり、初心に帰り挑んだ大会。今年2度も車の追突事故に遭い、記憶や気力も失せた時、愛犬の「ディスク投げて!」の哭き声で自分を取り戻し、リハビリに専念しながら迎えた大会だった。

ウィペットや元小型犬のチャンピオン『ルナ』を育てた上田さんのボーダー…。

充分すぎるメンバーだった。胸を借りるつもりで正々堂々と投げ、全ラウンドパーフェクトキャッチで、来夢も連走の疲れも見せず、戦い続けました。

愛犬やサポーター、それから皆様方に感謝の気持ちで一杯です。そして、来夢、ありがとう。



11月16日、但馬の空は青く澄んで絶好のグラウンドコンディションで、JFAの協会設立20周年を祝うかのようだった。

レトリブクラス チャンピオン

辺見浩司&ノアール

2013年度シーズンから、JFAに参加させて頂き、お世話になってます。

昨年のチャレンジカップでのトライアルボール参戦記で、「来年はディスクで小型犬クラスを目指して!」と宣言し、1年間ヌノスピーでの練習に取り組みしましたが、結果、3メートルを超えるキャッチを1度も成功出来ないままです。

今回は、ソフトディスクでのレトリブクラスでの出場となりました。

但馬の芝生広場は、晴天で暖かく絶好のディスク日和。ノアールは調子も良くやる気満々で試合開始、第1ラウンドは失投1回、第2ラウンドはフットフォルトと投げ手のミス連発でしたが、何とか2位で決勝へ。

決勝では、3投目から、残り時間に焦り、キャッチを無視したディスクを連投してしまい、MCさんの言葉を詰まらせてしまいました。

今後もノアールと共に、「小型犬クラス出場」を目標に日々精進したいと思いますので、よろしく願っています。



レトリブクラス チャンピオン

長谷川幸二&ブルー・オーシャン

皆さん、初めまして！ 俺、オーシャン。チャレンジカップでは、沢山、応援して頂き、有難うございました。

俺は、今年の1月5日、埼玉の良家？に生まれたB・C3兄弟の長男、スムーズの男の子です。性格は真面目な天才犬、長甘えん坊と、母上は言っています。

僕は小さい頃、タマちゃんとか、オッチャンと呼ばれていましたが、本名はブルー・オーシャンです。姉貴は「ビーチ♪」姉御で、小さい頃から駆けっこで、ピシピシ鍛えられましたが、僕にはいつも優しいです。

父上は、大会に出るのは「競争率の少ないブルー・オーシャン戦略で」と言って、初大会もターボ叔父さんと二人きりだったけど、楽しかったです。

チャレンジカップ決勝では、僕がボールを蹴飛ばし、空高く場外へ飛びましたが、結果、111Pと1並び。何かを持っているかもしれない俺は、これからも父上とブルー・オーシャン戦略を遂行参戦していきますので、応援の程、よろしく願います。



トライアルボールOPクラス 優勝

寒河江雅之&らら



チャレンジカップに出場する時、ちょっと悩んだことは確かです。2月に退会し、この期間不参加というのは、あの囲まれたコート内でどれだけゲーム感覚を戻せるのだろうと思いました。

出場するからには恥ずかしくないゲームも見せたいし、今回は、若い「らら」を2クラス、「びの」は1クラスだけの参加でゲームに集中してもらうことにしました。

参加頭数はさびしかったけど、目標ポイントを目指して頑張りました。

OPクラス前のSSクラスでの1ゲーム目で大コケするポイントを出したので、「OPクラスはイケそうだなあ〜。」って、変な自信がありました。

「らら」も「調子が上がって来たよ!」と、目で合図したように見えたとしね。

目標には少し届かなかったけど、大きなワンコのクラスで、「らら」が今まで練習した結果を出して優勝してくれました。

お散歩犬だった「らら」が「びの」を見て、ボール遊びの面白さがわかって、一生懸命走って、練習して、「びの」に追いついてきたんだよねえ。

これからもファイト!

トライアルボールSSクラス 優勝

寒河江雅之&ぴの

退会して9か月、再入会して最初のゲームがチャレンジカップでした。

スポーツ犬とはほど遠いと思われるM.ダックスですが、「ぴの」は1歳の時からワンコスポーツに出場して、「めざせ優勝! めざせスーパーワンコ!」として頑張ってきました。

8歳を迎え、さすがに今迄のように集中力が続かなくなってきたので、「ぴの」はSSクラスだけの参加にしました。

思った通り1ゲーム目は走らず、これは、「らら」も同じでした。

それも、同ポイントで1ゲーム目は終了。「のあ」ちゃんがリードしていたので、「このままでは、「ぴの」・「らら」は、2位争いかなあ〜。」って…。

ボールゲームとはいえ、勝敗の行方は最後までわからないものです。運よく「ぴの」と「らら」で、優勝決定戦になってしまいました。

ハンドラーの集中力と体力が切れないように頑張り、僅差で「ぴの」が優勝しました。

JFAの歴史上、M.ダックスがW優勝するなんてありえないでしょうね。「ぴの」と「らら」のコンビでのスポーツ・ダックス普及に、もう少し頑張れそうです。



トライアルボールOPクラス 優勝

広瀬妙子&はるな

昨年6月、はるなが3歳の時、トライアルボールとレトリブ(ディスク)でデビュー。今年も、同じ大会に出場、レトリブはボロボロでしたが、ボールは良い結果でした。

今回、チャレンジカップにお誘いがかり、急きょ、JFA会員入会申込し、5歳で初参戦。結果が1点差で優勝!

信じられませんでした。本当にうれしいです。

はるなは、大勢の人の中が大好きなので、ゲーム途中よそ見したり、臭い嗅ぎしないか心配でしたが、一心不乱にボールを追いかけて、ちゃんとレトリブしてくれました。

今までで一番息が合った大会だったと思います。よく頑張ってくれました。

誘ってくださってありがとうございます。これ



で心おきなくボールを卒業し、娘の愛にバトンタッチできます。来年からトライアルボールは、「はるな愛」(笑)で参戦します。母はディスクに挑戦しますので、これからも何卒よろしくお願いたします。

トライアルボールSDクラス 優勝

渥美ひとみ&毬菜

2014年シーズンスタッフの皆様、チャレンジカップ参加の皆様、お疲れ様でした。



毬菜は、トライアルBゲーム第1戦から出場してきました。

その毬菜も10歳。今までいろいろありました。真夏、まだタープがなくビーチパラソルだった頃や、子供が学生の時、土日帰り参戦した事。今では、「そんな疲れることよくしたなあ」って夫婦で笑っています。

毬菜4歳、ディスク転向。愛娘麗菜誕生。無理を承知で始めた公式小型。初ジャパンファイナルの当日に父の死。あの思い出は一生忘れられません。

そして、歳には勝てません。両肩軟骨のすり減り。今シーズンはボールと小型犬大会で遊びましたが、公式慣れた毬菜は2R終わっても決勝を待ってスタンバイする姿が辛くて、2015年はまた公式を毬菜・麗菜親子で頑張ります。ディスクドッグでは数少ない犬種ですが、皆さんよろしくお願致します。

最後に、ディスクの指導して下さった助定師匠、これからもよろしくお願いします。

トライアルボールSSクラス 優勝

岩田 稔&愛理

ボールが大好きな愛理は6歳のジャックラッセルテリアの女の子。でも、体が小さくて、体重も3.2kgしかありません。

フリスビーも大好きなのですが、風が吹くと風にあおられて、なかなか持って来れません。

そんな愛理にピッタリなトライアルボール競技、しかし、今までチャレンジカップに出場したことがなく、今回初出場で良い成績が残せたことを嬉しく思っています。

また、私も初めて「ウイニングラン」をさせてもらい、良い経験をさせていただきました。でも、今回優勝させていただきましたが、内容も点数もまだまだです。

2015年シーズンも、すでにスタートしています。ワンコも人間も共に成長して行こうと思っています。



頑張った愛理と、応援して下さった皆様、ありがとうございました。

大会結果

チャレンジカップ2014 決勝進出者 及び 入賞者一覧

EAST 茨城つくば

■チャレンジクラスチャンピオン決定戦

	氏 名	犬 名	出身地	犬 種	ポイント
1	柏木真理子	PIESPORT	青森県	ボーダーコリー	102
2	五十嵐 誠	クロロ	茨城県	ボーダーコリー	94
3	吉川 麻絵	マーベル	茨城県	ウィペット	89
4	吉澤 宏美	そら	東京都	ボーダーコリー	66
5	布川 知子	やまと	千葉県	ボーダーコリー	62

■スモールドッグクラスチャンピオン決定戦

	氏 名	犬 名	出身地	犬 種	ポイント
1	岩城 均	忠実	新潟県	W.コーギー	12
2	小田由貴美	鈴音	三重県	W.コーギー	6
3	布施 明広	リンク	山形県	ジャックラッセル	2

■レトリブクラスチャンピオン決定戦

	氏 名	犬 名	出身地	犬 種	ポイント
1	長谷川幸二	ブルー・オーシャン	埼玉県	ボーダーコリー	111
2	江連ふみか	ちび	栃木県	ボーダーコリー	93
3	中村 理恵	姫	千葉県	ボーダーコリー	88
4	椎野 由美	VIVIAN	茨城県	Aシェパード	87
5	天野 佳子	ターボ	東京都	ボーダーコリー	82

■トライアルボールドッグゲーム (OP-CLASS) チャンピオチャンピオン決定戦

	氏 名	犬 名	出身地	犬 種	ポイント
1	寒河江雅之	らら	千葉県	M.ダックス	66
2	村形 則孝	空	山形県	S.プードル	50

■トライアルボールドッグゲーム (SS-CLASS) チャンピオチャンピオン決定戦

	氏 名	犬 名	出身地	犬 種	ポイント
1	寒河江雅之	ぴの	千葉県	M.ダックス	53
2	寒河江雅之	らら	千葉県	M.ダックス	53
3	平岡 啓子	のあ	東京都	トイプードル	51

WEST 兵庫但馬

■チャレンジクラスチャンピオン決定戦

	氏 名	犬 名	出身地	犬 種	ポイント
1	福原 芳郎	来夢	兵庫県	ジャックラッセル	83
2	上田 昌二	雫	兵庫県	ボーダーコリー	74
3	岩田 典代	未来	三重県	ミックス	59
4	上田 隆行	桃子	兵庫県	ゴールデン	56
5	岩田 稔	風太	三重県	ボーダーコリー	56

■スモールドッグクラスチャンピオン決定戦

	氏 名	犬 名	出身地	犬 種	ポイント
1	福原 芳郎	来夢	兵庫県	ジャックラッセル	85
2	中川ゆかり	レイ	滋賀県	シェルティ	37
3	渥美ひとみ	毬菜	滋賀県	シェルティ	34
4	中川ゆかり	アレス	滋賀県	シェルティ	34
5	溝渕 千鶴	ゆず	兵庫県	ジャックラッセル	26
6	清水 英男	小春	滋賀県	パピヨン	24

■レトリブクラスチャンピオン決定戦

	氏 名	犬 名	出身地	犬 種	ポイント
1	辺見 浩司	ノアール	兵庫県	ミックス	101
2	渥美 貴久	紅音	滋賀県	シェルティ	95
3	広瀬 妙子	はるな	京都府	ボーダーコリー	74
4	迫田さやか	そら	大阪府	ボーダーコリー	72
5	大山竜太郎	ホーク	大阪府	アイリッシュ・セター	63

■トライアルボールドッグゲーム (OP-CLASS) チャンピオチャンピオン決定戦

	氏 名	犬 名	出身地	犬 種	ポイント
1	広瀬 妙子	はるな	京都府	ボーダーコリー	66
2	三浦 昭二	小梅	三重県	ボーダーコリー	65
3	中川ゆかり	アレス	滋賀県	シェルティ	60

■トライアルボールドッグゲーム (SD-CLASS) チャンピオチャンピオン決定戦

	氏 名	犬 名	出身地	犬 種	ポイント
1	渥美ひとみ	毬菜	滋賀県	シェルティ	60
2	岩田 稔	愛理	三重県	ジャックラッセル	57
3	島村 葉子	プリン	京都府	ミディアムプードル	56

■トライアルボールドッグゲーム (SS-CLASS) チャンピオチャンピオン決定戦

	氏 名	犬 名	出身地	犬 種	ポイント
1	岩田 稔	愛理	三重県	ジャックラッセル	55
2	杉岡 彰子	アーク	兵庫県	パピヨン	25

2014 JAPAN FRISBEE DOG ASSOCIATION PHOTO GALLERY



JFA ARCHIVE

目で見るフリスビードッグの歴史『JFAアーカイブ』

<http://jfa-archive.com>



大塚グループ

アース・バイオケミカル株式会社



アイペット損害保険株式会社



SKYDOG SPORTS Vol.25

2015年4月号

発行元 日本フリスビードッグ協会

〒950-0993 新潟県新潟市中央区上所中 2-1-6
TEL.025-280-1256 FAX.025-280-1257
URL: <http://www.frisbeedog.co.jp>